

NEWS 310

Vol.43 令和3年12月号

NEWS 310 (ニュース サド) は佐渡観光交流機構の会員様向けニュースレターです。佐渡観光交流機構は、会員様はじめ佐渡の観光に関わる様々な方々の意見を尊重します。ご意見、ご感想をぜひお聞かせください。また、観光 PR のための写真画像、映像、イベント情報等がございましたらご提供いただけますと幸いです。佐渡観光交流機構を今後ともよろしく願いいたします。

佐渡観光交流機構ホームページの「お知らせ」にて公開しております。(<https://sado-dmo.com/news/>)

◆11月の振り返りと今後の予定

いつも大変お世話になっております。比較的気温が高かった日が続いていた11月でしたが、12月に入り、冬らしくなってきました。この時期の佐渡は、何を食べてもおいしいので体重の増加が気になる季節でもあります。今は日本全体で新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せていますが、新型ウイルスなど心配なニュースが聞こえてきました。パンデミックの脅威にさらされて早くも2年、ウイルスの進化のスピードは、人間の予想を超えるスピードなのだと思います。With コロナはしばらく続くとしてもこのまま、感染拡大を抑え込みつつ経済の回復を目指していきましょう。

12月は、いよいよ佐渡にとって世界遺産登録への大事な一歩を踏み出すタイミングではないかとお聞きしています。当機構では、二次交通整備の一環として11月11日から両津港から相川エリアまでの直行ライナーバスを運行。相川エリア内では、無料の循環タクシーを無料で運行し、好評をいただいております。この取り組みは国の実証実験事業で実施しており、観光のお客様と地域の皆さま双方にとって最適な地域交通のあり方を検証しているものです。地域の皆さまもぜひ積極的にご利用いただきたいと考えています。(専務理事 祝)

◆長野・妙高・上越地区学校セールスを行いました

11月15日～17日の3日間で、長野・妙高・上越方面の小学校(20校)と旅行会社(9社)にセールスへ行ってきました。**今年修学旅行で佐渡へ来た学校へは、来島の御礼と来年度の予定を聞き取りし、船の予約後に取り消しになった学校は最終的にどこに行ったかを聞きました。基本的にこれらの地区の小学校は新幹線で東京方面への修学旅行を実施している学校が大半で、コロナ禍で行き先を各県内か隣県へ方面変更をした学校となります。**

「久しぶりに佐渡への修学旅行を実施したが非常に良かった。」「東京方面はまだ不安なので佐渡は来年度も修学旅行の候補地となりうる。」など好意的な意見も聞かれた反面、「新型コロナ感染症が治ったら従来通りの東京方面に戻す予定。」「旅行先で何か問題が発生した際に保護者が直ぐ迎えに行ける地域でなければならないため、保護者により却下されてしまう。」などの意見もありました。今後も継続に訪問し新しい情報を直接学校へご案内することによって、佐渡への修学旅行誘致につなげたいと思います。(旅行事業部部長 中林)

◆SADOTS モニターツアーを行いました

当機構と株式会社パーソル総合研究所の共同企画「SADOTS」モニターツアーが実施されています。**このSADOTSでは、首都圏等で働く企業人が佐渡の魅力である「人」「自然」「文化」また地域が抱える課題などに向き合うワークショップを体験したり、佐渡太鼓体験交流館での太鼓体験を通してチームビルディングを学ぶ、企業研修プログラムです。**

今年度は2泊3日のモニターツアーを3回行う予定で、1回目は10月、2回目は11月に行われました。3回目は12月の実施予定です。ワークショップでは、相川の無名異焼職人やトキ保護の自然教育を続ける方、加茂湖周辺の整備と活用を行う団体様に協力いただき、佐渡の魅力に触れながら学ぶ機会となっています。（旅行事業部 鈴木）

◆農泊リスクマネジメント研修を行いました

11月22日に教育体験旅行（民宿・農泊・民泊体験）やアウトドアインストラクター、ジオパークガイドを対象にした「体験活動におけるリスクマネジメント研修会」を開催しました。

過去の事故事例や繰り返し起こる事故の事例を学びながら、日頃の指導やガイドングの際の注意点、事前準備の注意点や、事故が起こってしまった際の対応について、野外体験活動での事故の弁護に詳しい弁護士の先生より講義いただくものです。

今年で9年目となる研修会ですが、繰り返し受講することによって知識が深まりますので、今後も開催できたらと考えております。なお、興味のある方には当日の資料も提供しておりますので、お気軽にお問い合わせください。（旅行事業部 鈴木）

◆首都圏向け旅行商品予約会・物産販売を行いました

11月17日、18日と佐渡市・新潟市・会津若松市の連携事業として、埼玉県さいたま市大宮区のまるまる東日本連携センターにて旅行商品販売会・観光PRイベントを開催しました。

佐渡市は佐渡冬紀行をメインにPRを行いました。来島いただいたことのない方が多かったです、桶の船（たらい舟）はなぜか知名度が高かったです。立地が大宮駅前という事で通行量も多く、物産販売店舗も併設していたのでPR2日間で用意したパンフレットはすべて配布でき、また他地区の旅行商品や施策を知る良い機会にもなりました。

皆様コロナで辛抱していた分、早く旅行に行きたいと期待を膨らませていました。国内推薦が決まり、佐渡へ行こうと思っていただけよう取り組んでいきたいと思えます。（旅行事業部 宮本）

◆エコツアーガイド養成を行いました

佐渡エコツアーガイド協会、新潟大学、地元集落のご協力を頂き当機構が企画販売する「原生林エコツアー」のガイド養成を、環境省の補助金を活用して行いました。新潟大学の本間先生を講師とし、10名の受講生が参加しました。実際のコースを歩く実地研修を1日と、トレッキングガイドとして必要な知識を学ぶ講義を4日間行いました。20代～60代まで、様々な年代の個性豊かな受講生が揃い、実践的な知識を楽しく学ぶことができました。来年度は、森林の生態を時季ごとに学ぶための演習林内での実習や赤十字救急員講習などを行い、さらなるスキルアップを目指していきたいと思えます。またガイド養成と並行して、原生林エコツアーの販売強化に向けた販売体制の整備や広報宣伝活動についての検討も行っています。（マーケティング事業部 栗山）

◆12月のおすすめイベントを紹介します

- ◆12月19日（日） 大崎自然薯の会（12:00～ 大崎活性化センター 予約は南佐渡観光案内所 0259-86-3200）
- ◆12月19日（日） 鼓童創立40周年特別公演「鼓童 刻の結ひ音」（14:00～ 金井能楽堂にて）

一般社団法人 佐渡観光交流機構 〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷 384-11

TEL : 0259-23-5230 FAX : 0259-23-5232 <https://www.visitsado.com/> Facebook twitter